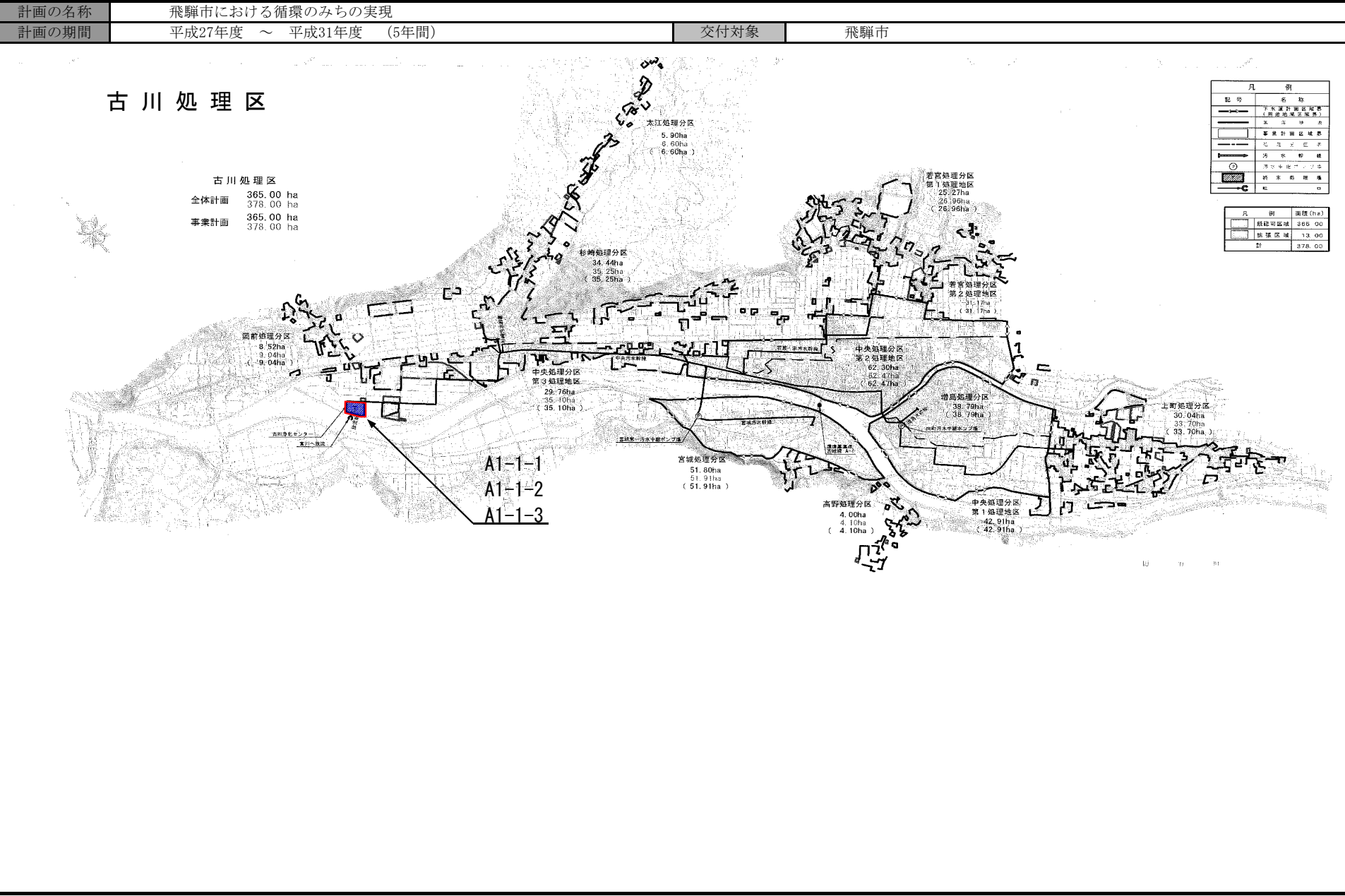


社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成30年 8月 1日

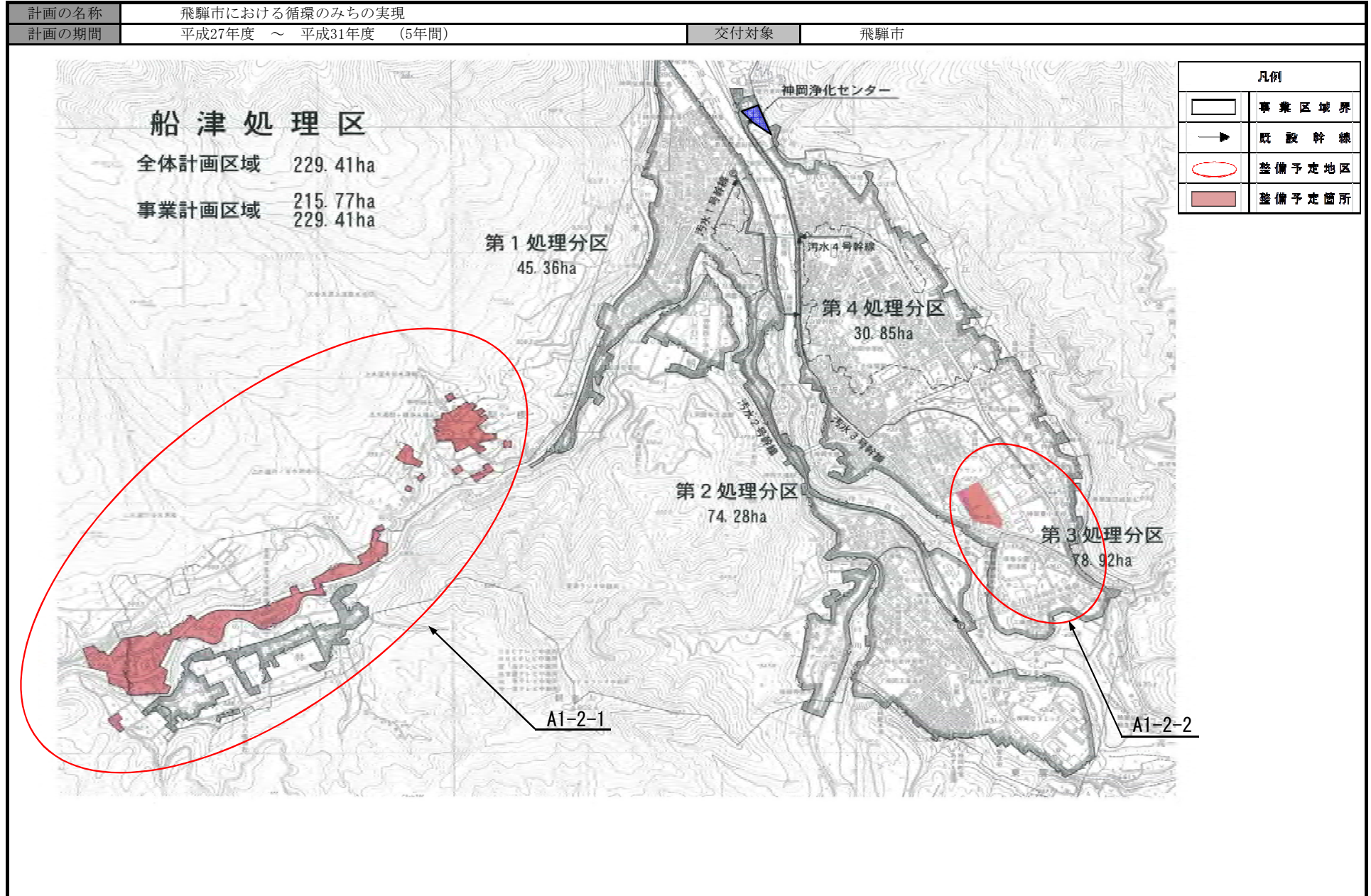
計画の名称	飛驒市における循環のまちの実現										重点配分対象の該当		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)					交付対象		飛驒市					
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
計画の成果目標（定量的指標）													
①下水道整備面積を率で表し、それを83.3%(H27)から100%(H31)に増加させる。 ②下水処理場の老朽化に伴い、水処理施設（電気設備）を改築・更新する。33施設／33施設（33%(H27)→100%(H31)） ③下水処理場における長寿命化計画策定率を20%(H28)から40%(H31)に増加させる													
定量的指標の定義及び算定式													
										定量的指標の現況値及び目標値			備考
										当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	
①下水道面整備率 下水道整備面積(ha)／計画面積(ha)										83%	83%	100%	
②下水処理場における水処施設改築・更新 改築・更新済みの水処理施設（施設）／改築すべき水処理施設（施設）										33%	100%	100%	
③下水処理場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済の処理場数（箇所）／長寿命化計画を策定すべき処理場数（箇所）										20%	20%	40%	
全体事業費	合計 (A+B+C+D)		346	A	346百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業																			
A 基幹事業				直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象								H27	H28	H29	H30	H31				
1. 古川処理区																			
A1-1-1	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	水処理	改築	古川浄化センター水処理施設改築・更新(長寿命化・処理場)	水処理施設(電気設備等)改築・更新 1式	飛騨市						120	-	策定済	長寿命化
A1-1-2	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	水処理、汚泥処理	改築	長寿命化調査・設計(長寿命化・処理場)	計画・調査・設計	飛騨市						22	-	-	長寿命化
A1-1-3	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	水処理、汚泥処理	改築	耐震設計(地震対策)	設計	飛騨市						20	-	-	地震
2. 船津処理区																			
A1-2-1	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	污水	新設	第1処理分区面整備 (未普及解消)	φ150mm L=3.9km A=8.9ha	飛騨市						56	-	-	
A1-2-2	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	污水	新設	第3処理分区面整備 (未普及解消)	φ150mm L=0.2km A=1.6ha	飛騨市						16	-	-	
3. 全域																			
A1-3-1	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市		全種	効率的な事業実施のための検討等	調査検討資料作成 1式	飛騨市						90	-	-	
A1-3-2	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	汚泥処理	改築	長寿命化調査・設計(長寿命化・処理場)	計画・調査・設計	飛騨市						22	-	-	長寿命化



社会資本総合整備計画 参考図面

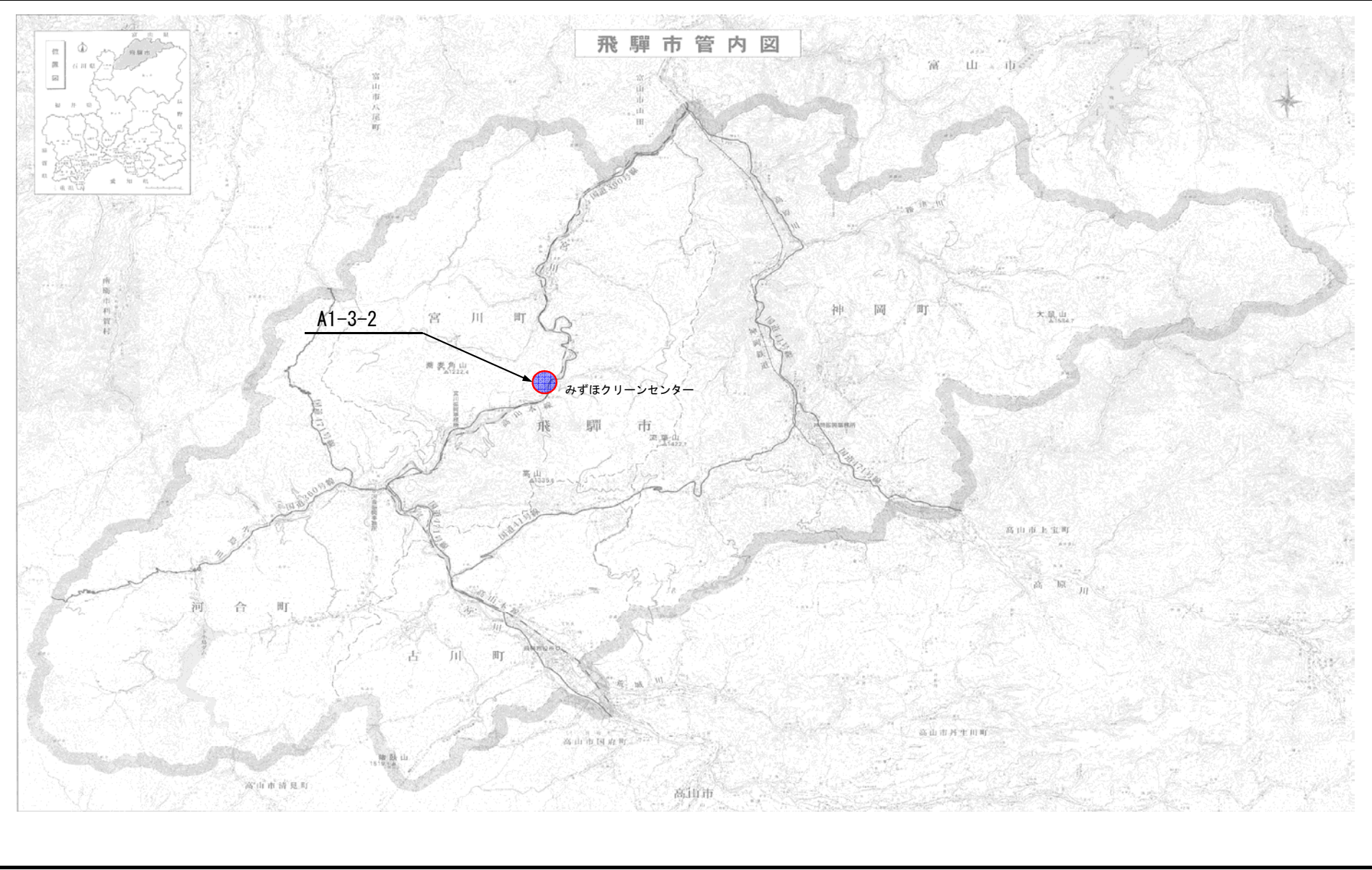
平成30年 8月 1日



社会資本総合整備計画 参考図面

平成30年 8月 1日

計画の名称	飛騨市における循環のみの実現		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)	交付対象	飛騨市



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 飛騨市における循環のみちの実現

都道府県名: 岐阜県(飛騨市)

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	○
1) 流総計画、下水道事業計画等の各種計画と適合しているか。	○
2) 各種法令(都市計画法、下水道法等)を遵守しているか。	○
②下水道に対する各自治体の課題への対応	○
1) 下水道に対する各自治体の課題と整備計画目標の整合が図られているか。	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
1) 目標と定量的指標が住民に対して分かりやすいものとなっているか。	○
2) 目標及び定量的指標と事業内容の整合性が図られているか。	○
②期待される事業効果	○
1) 成果目標値(事業効果)が妥当なものになっているか。	○
2) 効果促進事業を行うことによる相乗効果が得られるものとなっているか。	—
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境	○
1) 長期的収支計画の見通しが検討されているか。	○
2) 関係機関との協議や住民との合意形成等を踏まえて、事業の実施は可能か。	○

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	67.86	30.21	24.70	11.00	0.00
計画別流用 増△減額 (b)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
交付額 (c=a+b)	67.86	30.21	24.70	11.00	0.00
前年度からの繰越額 (d)	0.00	0.00	7.80	0.00	0.00
支払済額 (e)	67.86	22.41	32.50	11.00	0.00
翌年度繰越額 (f)	0.00	7.80	0.00	0.00	0.00
うち未契約繰越額 (g)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
不用額 (h = c+d-e-f)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	-